

研修で
学校が
変わる

副校長・教頭研修① まとめ

令和3年5月25日（火）

Web会議による遠隔研修（各校）

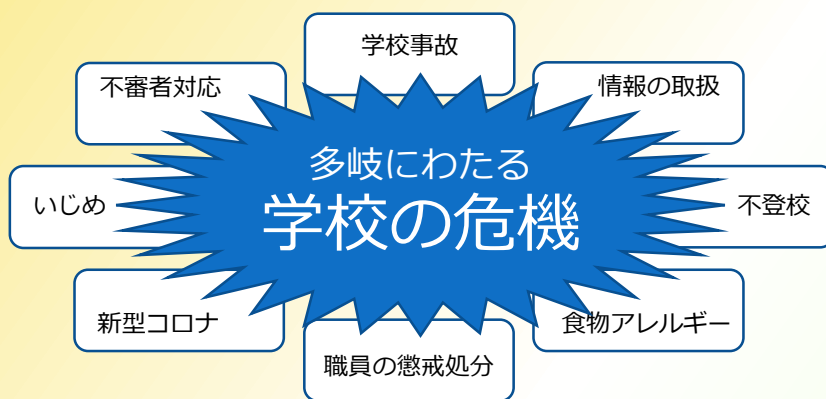


「リスクマネジメント」 ～学校の危機をいかに防ぐか～

講師 飯野 眞幸 氏（高崎市教育委員会 教育長）

【研修のねらい】

- 学校のリスクマネジメントの理解を深め、演習をとおして学校運営能力の向上を図る。



明日への想い（受講者の声より）

- ・ 日々、クライシス・コミュニケーションを意識して教職員の様子をみていくなど、自分自身の危機意識の向上を図っていきたい。
- ・ 自分の危機管理意識が学校内の最前線にいるかという意識を常に持ちたい。
- ・ 卓越したコミュニケーション能力を身につけることを意識していきたい。
- ・ 校長不在の場合の対応も教頭としてしっかり想定していきたい。

危機を招かない学校にするために

- 「先生はね…」の言葉の重み→教育公務員の言動は「公権力の行使」（個人として）
- 卓越した危機意識を有するリーダーの存在と職員集団の構築（組織として）
- 普段から組織として危機感を共有し、問題の発生を未然に防ぐことが究極の危機管理

明日への想い（受講者の声より）

- ・ 日頃から学年主任、管理職への報告・連絡・相談を徹底したい。初期対応が個人の判断にならないよう確認したい。
- ・ 学年主任等のモデルリーダーが危機管理意識を持ち、担任に助言したり生徒理解に当たったりできるよう、リスクマネジメントの面でモデルリーダーを育成したい。
- ・ 児童や保護者にSNSにおけるいじめ防止の啓発を早急にすることを検討していたので、高崎市の取り組みを参考にさせていただきたい。
- ・ 6月のスマイル月間に向け、生徒による発信等、高崎市の徹底した取り組みを参考にしたい。

高崎市の取り組みに学ぶ いじめ問題への対応

- ・ いじめ防止を核にした学校経営
- ・ いじめ担当教員の配置
- ・ 校長室に「いじめ防止推進本部」
- ・ リーフレットでアピール（児童生徒、保護者）
- ・ 子どもたち主体の取組の展開

制約の多いWeb会議形式の研修でしたが、資料の事前配布と事例をもとにした演習により充実した研修となりました。遠隔でも受講者同士が意見交換を行える方策を検討していく必要を感じました。（係より一言）